

〈研究ノート〉

台湾にある日本語 Japanese loanwords in Taiwan

あらい ともこ
 荒井 智子 (台湾銘傳大学)
と たいれい
 杜 岱玲 (台湾大葉大学)

キーワード：借用語、外来語、外行語、台湾、日本語観国際センサス

要旨

本稿は、台湾にある日本語からの借用語を今までに研究された文献、及び、筆者らの身近なところから収集したものを提示する。さらに、日本、日本人、日本語に対する台湾人の意識について、国際センサスの調査データを使って各国平均との比較を行う。

台湾では日本による50年間に及ぶ統治時代、同化政策という名のもとに国語(日本語)が強要された。終戦後、第二の国語(中国語)の使用が決められても、すでに生活の中で人々の意思の疎通に使われていた日本語はなかなか消滅しなかった。1993年以降、日本文化に自由に接触できるようになると、さらに生活に関する日本語が入ってくるようになった。台湾の人々の日本語に対するイメージの良さがそれらの輸入に拍車をかけていることが予測される。しかし、日本語の読み方で使われるよりも、日本語の漢字は中国語の音で読まれ、日本語の漢字がないものは中国語の当て字(音訳)で取り入れられるようになるなど、台湾にある日本語の使われ方には変化が起きていることが確認できた。

1. はじめに

台湾の街を歩いていると、日本語のことばを中国語や台湾語の当て字で書いた「卡哇伊、卡哇依、卡娃伊(かわいい)」「甘八茶、甘巴爹、扛八袋(がんばって)」「一級棒(いちばん)」などの看板を目にしたり、「いらっしゃいませ」「ありがとう」「おばさん」「ちよっと待って」などの日本語の短い言葉を取り入れながら話している台湾の人々に度々出会うことがある。これらの日本語は、日本人のために使われる日本語というよりは、台湾の人々の間で使われている日本語からの借用語である。

井上(2012)は日本語の単語が世界でどう使われているかをグーグルマップを利用して調べ、Sony, honda, toyota, pokemon, anime, nissan, manga, nintendo, suzuki, ninjya, sushi, karaoke, soy, tunami, zen, tycoon, karate, samurai, sakura, origami が使用率の高い日本語であることを明らかにした。そして、これらの日本語は日本文化独自のものを表す特有語

で、日本語が世界へと進出し、日本文化はほぼ全世界に広がったと述べている。

台湾ではこのような特有語以外にも多種多様な日本語がいろいろな場面で使われていると感じる。これは、何か特別な要因があるのだろうか。本稿では台湾にある日本語のさまざまな借用語をとりあげ、先行研究や筆者らの身近なところから収集した日本語の借用語を分類提示する。また、国際センサスのデータを用いて、現在の台湾人の、日本、日本人、日本語に対する意識について各国平均と比較する。そして、今後はこの研究ノートをさらに発展させ、ことばの受け入れと人々の意識の関係について深く考察していきたいと考える。

2. 借用語、外来語、外行語

日本語の場合は、中国語から輸入された漢字系のものを「借用語」、西洋語系のものを「外来語」と分けて呼ぶ傾向があるが、借用語も外来語も、その言語に外部世界から導入され、やがて同化、定着した語のことである⁽¹⁾。

一方、外行語とは、外来語と対応する形で名付けられたもので、英語や近隣諸国の言語の中に入りこんだ日本語を言う（井上 2001）。本稿では、これらのことばに区別はないという立場をとり、先行研究からの引用文などでは、その呼び方に順次して使用する。

3. 台湾の言語政策の歴史的流れ

1895年日清戦争後から1945年の第二次世界大戦が終わるまでの50年余り、日本は台湾を植民地として統治した。日本の統治下、台湾では同化、皇民化を目的とした国語（日本語）政策が実施された。そのため、第二次世界大戦の終戦前までには日本語が話せる人口は70%以上にのぼり、その一方で母語である閩南語や広東語は失われていった（張 1983）。その背景には、公学校への就学率を向上させることを目指したことや「国語常用家庭」⁽²⁾という方法を採用したことなどがあげられる。しかし、第二次世界大戦で日本が敗戦すると、台湾は日本の統治から解放されて祖国復帰を果たした。そして、新たに漢語方言を回復させると同時に、それまで台湾の人々の公用語であった日本語を抑制するようになった。1949年に『戒厳令』がひかれ、1956年「説国語運動」が展開され、各機関や学校や公的な場で中国語を使用することが規定された。学校などで中国語以外の言語で話せば厳しい罰を与えられるなど、強行な方法で推し進められた。その後、1976年にはマス・メディアでの言語使用を規定する法令『広播電視法』が發布された。このように、第二次世界大戦後は台湾では公的には日本語の使用ができなくなった。しかし、すでに日本語で学校教育を受けていた台湾の人々にとっては、すぐに新しい国語である中国語が話せるようにはなれず、また、高齢層においても日本語のほうが意思の疎通ができるため、日本語が共通語として機能していた。

その後、1987年に『戒厳令』が解除されると、台湾社会の民主化が進展するようになって方言

などを擁護する活動などが活発になった。さらに 1993 年には日本文化が解放され、日本に関するもの、日本語、日本文化などに規制がなくなり自由にそれらを使って接することができるようになった。

4. 台湾に入った日本語の外来語の分類

4. 1. 鐘（2003）による日本語外来語の分類

鐘（2003）は、日本語の外来語を、1）時期による分類、2）構成による分類、3）意味による分類でまとめている。

1）時期による分類

鐘（2003）では、台湾に入ってきた時期によって「近代外来語」「残存外来語」「新外来語」の3種類に分けている⁽³⁾。まず、「近代外来語」とは19世紀末から20世紀始めにかけて西洋文化・文明を日本に留学していた留学生を通して中国語に輸入した語である。中国語に深く馴染んでいるため外来語という感じがしないほど定着している外来語である。次に「残存外来語」とは、日本統治時代、当時、台湾の使用言語だった台湾語の中に吸収されて、今でも使用されている外来語である。大半は日本語の発音のままで使用され、さしみ（沙西米）、てんぷら（甜不辣）などの音訳語や、弁当、料理、電球などの借形語もある。これら残存外来語は日常生活用語に関するものだという特徴がある。そして、最後に「新外来語」とは、1990年代に入ってから現在に至るまでに、日本からたくさんの新しいものが輸入され、商品名などの外来語が入ってきている。

2）構成による分類

鐘（2003）の調査では、構成方法によっても新外来語を分類している。まず、外来語を大きく「借形語」と「非借形語」の2つに分ける。さらに、「借形語」は「漢字」と「非漢字」に分かれ、そして、「非借形語」は「音訳」「音訳＋補足語」「音訳＋意識」「意識」「借形＋音訳」「借形＋意識」「台湾人による造語」の7つに分かれる。以下の表を参考にされたい。

3）意味による分類

鐘（2003）では、新外来語を10項目の分野「政治、経済、国際、社会、生活、文化、科学、スポーツ、流行、趣味」に分け、各項目の多少を比較したところ、「経済、生活、流行、社会、趣味、スポーツ」が多く、「文化、科学、政治、国際」に関する語は少なかった。このことから、新外来語は主に日常生活語に関したことばだという特徴がある。

表 1 構成方法による分類 (鐘季儒 2003 より)

借形語 (771)	漢字 (707)	漢字	682	援助交際、新新人類
		造語成分	25	～族、～屋、～賞、御～
	非漢字(64)	かな	9	イチロー、の
		ローマ字	55	OL, GW
非借形語 (300)	音訳		76	三麗鷗<サンリオ>、カラOK<カラオケ>
	音訳+補足語		5	凱蒂猫<ハローキティ>、麗佳娃娃<リカちゃん>
	音訳+意訳		16	摩斯漢堡<モスバーガー>、歐香巨蛋<オーシャンドーム>
	意訳		66	巨蛋<ドーム>、主題遊樂園<テーマパーク>
	借形+音訳		25	猫巴士<猫バス>、地下鉄沙林事件<地下鉄サリン事件>
	借形+意訳		80	招財猫<招き猫>、泡沫経済<バブル経済>
	台湾人による造語		32	一匙靈<アタック>、照片貼紙<プリクラ>

(()内は総語数、<>内は日本語の原語)

4. 2. 身近なところから収集した台湾にある日本語

看板、商品標示、テレビやラジオ放送など、筆者らの身近なところで目にしたり耳にしたりした日本語を写真に撮ったり録音したりして記録し、以下①から⑩に分類した。

①日本語の漢字表記で、読み方は台湾語読みのもの

出張 (chut4 tiunn1) ・病院 (pinn7 inn7)

②日本語には漢字表記がないもので、音訳されているもの

黒輪 (o-len) (おでん) ・沙西米 (sha1 xi1 mi3) (さしみ)

甜不辣 (tian2 bu4 la4) (てんぷら) ・優雅食 (you1 ya3 shi2) (おやつ)

③日本語の読み方に音韻的変化が見られるもの

オートバイ (o-to-bai) ・ビール (bi-lu) : 長音の脱落

ドライバー (lo-lai-ba) ・ラジオ (la-ji-oh) : ラ行と/d/が/l/に転移

レモン (le-bon) ・おしぼり (o-shi-mori) : /m/と/b/の交代

あっさり (a-sa-li) ・スリッパ (su-li-ba) : 促音の脱落

④日本語の漢字を中国語 (繁体字) で表記されているもの

寿司→壽司 (shou4 si1) 弁当→便當 (bian4 dang1) 厳選→嚴選 (yan2 xuan3)

人気→人氣 (ren2 qi4) 元気→元氣 (yuan2 qi4)

⑤日本語のまま表記されているもの

丼・元気・おいしい・かわいい

日本語の漢字表記があっても、中国語で音訳（当て字）されているもの

（わさび）：哇沙米（wa1 sha1 mi3）哇沙比（wa1 sha1 bi3）哇莎米（wa1 sha1 mi3）

（トラック）：拖拉庫（tuo1 la1 ku4）脫拉庫（tuo1 la1 ku4）托拉庫（tuo1 la1 ku4）

（気持ち）：奇檬子（qi2 meng2 zi3）奇摩子（qi2 ma1zi3）奇蒙子（qi2 meng2 zi3）

⑥日本語の漢字表記で、読み方は中国語読みのもの

大賞（da4 shan3） ・ 達人（da2 ren2） ・ 居酒屋（ju jiu3 wu） ・ 物語（wu4 yu4）

油切（you2 cie1） ・ 料理（liao4 li3）

⑦「見出し語」として目にするもの（読み方は中国語読み）

新登場（xin deng chang3） ・ 新発売（sin1 fa1 mai4） ・ 超人氣（chao1 ren2 ci4）

⑧比喩・隠語

紅不讓（hong2 bu4 rang4）：本来は野球用語「ホームラン」の当て字だった。テレビ番組名に使われてから「大人気である」という意味に使われるようになった。

羅生門（luo2 sheng1 men2）：映画「羅生門」の内容から意味を転用し、事件の真相は関係者の証言が乱れて分からない状態になっているという意味に使われる。

⑨造語

宅男（zhai2 nan2）一宅女（zhai2 nu3）

慰安婦（wei4 an1 fu4）一慰安夫（wei4 an1 fu4）

柏青哥（bo2 qing1 ge1）一柏青嫂（bo2 qing1 sao3）

熟女（shu2 nu3）一熟男（shu2 nan2）

⑩その他

忘年会→旺年會（wang4 nian2 hui4）：「忘」と「旺」は中国語の発音が同じである。

「旺」は新しい年の商売繁盛を祈る縁起のいい意味がある。

5. 日本語観国際センサスの調査データから

「日本語観国際センサス」とは、1997年1月から1998年8月にわたり、世界28の国と地域に住む15～69歳の男女、合計32,500人に対して実施した国際比較調査データである⁽⁴⁾。調査項目は、日本語や日本語学習に関する項目を始めとして、母語や英語に関する項目、さらには日本人や日本に関する項目など多岐に渡っている。台湾での調査対象者数は1,138人（男50%、女50%）で、平均年齢は35.98歳である⁽⁵⁾。本稿では、調査表の中からQ35、Q36、Q40、Q45、Q50⁽⁶⁾

の項目の調査結果を取り上げる。

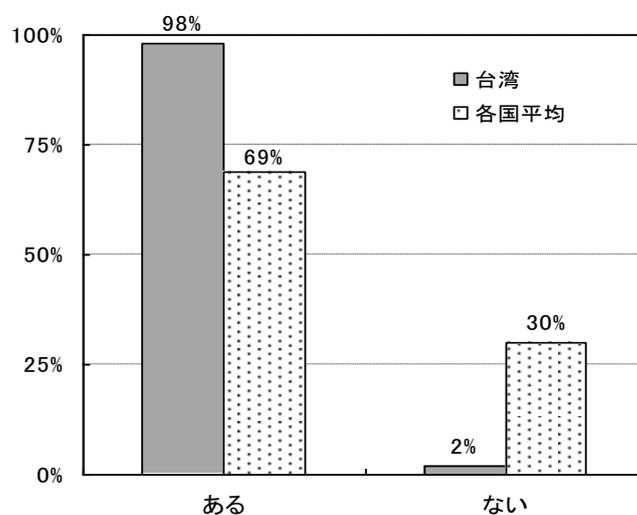


図 1 Q35. 自国内で日本語を見たり聞いたりした経験

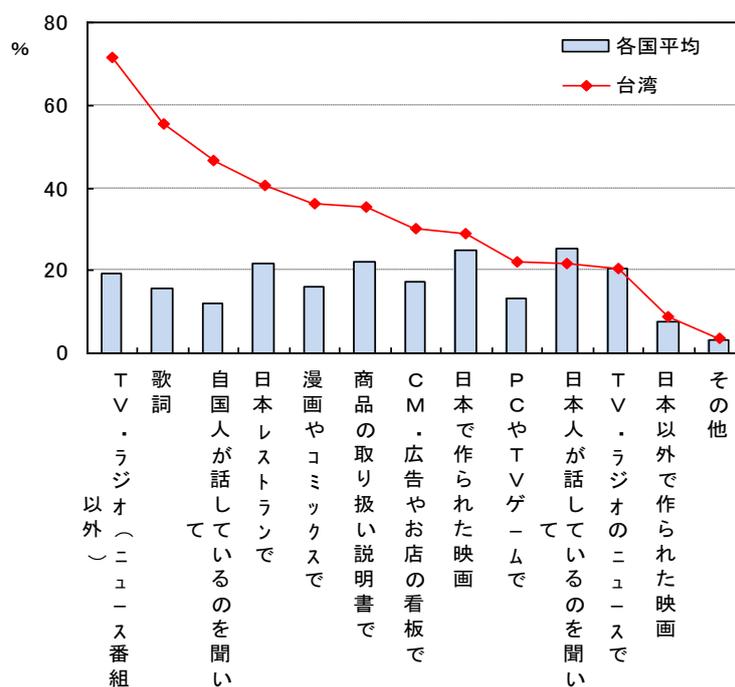


図 2 Q36. 自国内で日本語を見たり聞いたりした場所

図 1 は、自国内で日本語を見たり聞いたりした経験の有無について示したものである。台湾人で「ある」と答えた人は 98% で、各国平均の 69% よりも多かった。そして、図 2 は、日本語を見

たり聞いたりした場所について表したものである。折れ線グラフは台湾人で、棒グラフは各国平均を示している。これによると、台湾では「TV ラジオ（ニュース番組以外）」が最も多く、次いで「歌詞」、「自国人が話しているのを聞いて」「日本レストランで」「漫画やコミックス」と続く。ほとんどの項目で各国平均より台湾のほうが高い数値だったが、唯一、「日本人が話しているのを聞いて」という項目では各国平均より台湾は低かった。このことから、台湾人は日本語を見たり聞いたりすることが世界各国に比べて多く、また、台湾国内の様々な場所で日本語との接触が頻繁にあり、直接日本人に接して日本語に接触しているわけではないことがわかる。

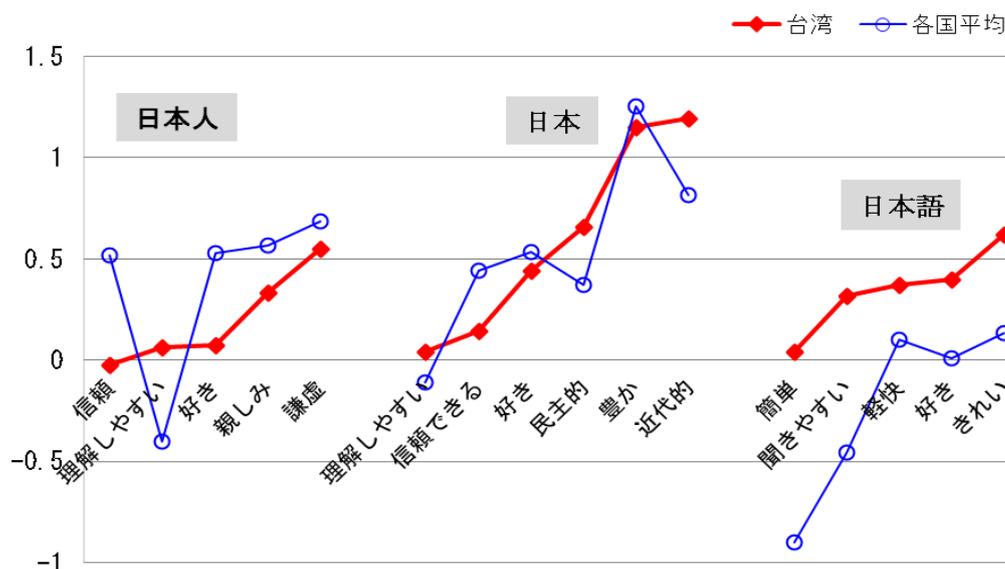


図3 日本人、日本、日本語のイメージ (Q40、Q45、Q50)

また、図3は、左から「日本人」「日本」「日本語」に対するイメージについて聞いたものである。左の「日本人」に対するイメージは、「理解しやすい」という項目では、細線の各国平均よりも太線の台湾は高いが、「信頼」「好き」「親しみ」「謙虚」では台湾人は低かった。また、中央の「日本」に対するイメージでは、各国平均より比較的好いイメージは「理解しやすい」「民主的」「近代的」で、反対によくはないイメージは「信頼できる」「好き」「豊か」の項目だった。全体的には各国平均と大きな差はみられない。そして、右は、「日本語」に対するイメージである。これは、「簡単」「聞きやすい」「軽快」「好き」「きれい」すべての項目で台湾は各国平均よりもよいイメージを持っていることがわかる。以上の「日本人」「日本」「日本語」に対するイメージについて全体的にみると、台湾人は他の国の人よりも「日本人」に対してあまりよいイメージを持っていないこと、「日本」に対しては平均的なイメージを持ち、そして、「日本語」に対しては非常によいイメージを持っていることが示され、それぞれに異なる傾向がみられることがわかった。

6. さいごに

今後はさらに用例を増やし、また、人々の意識面からも合わせて考察を深めたい。どの時代も国や民族の交流が行われ歴史が生まれ、そして、ことばが変化していく。それらを探求することで世界の人々の過去と今と未来を考えていければよいと願う。

<注>

- (1) 『新版日本語教育辞典』(2005) 社団法人日本語教育学会編
- (2) 全家族が日本語を常用し、且つ、皇民的生活を送っている家族を「国語常用家庭」として認定し、子弟の中等学校入学許可の考慮などいろいろ利便を与えた。(村上 1984)
- (3) 鐘 (2003) では、1986 年から 1997 年まで台湾で発行された『日本文摘』という雑誌から新外来語の用例を取り上げている。この雑誌は日本に関する情報を中心に編集されている。全 142 期の雑誌から新外来語を 1,071 語収集している。
- (4) 文部科学研究費補助金による「国際社会における日本語についての総合的研究」(平成 6～10 年度、研究代表者：水谷修)の一環として行われた調査。
- (5) 割合は、15～19 歳は 12.57%、20～24 歳は 9.4%、25～29 歳は 11.51%、30～34 歳は 13.97%。
- (6) 質問項目は、Q35「自国内で日本語を見たり聞いたりした経験」、Q36「自国内で日本語を見たり聞いたりした場所」、Q40「日本語のイメージ(きれいーきたない)(簡単ー難しい)(軽快ー重苦しい)(聞きやすいー聞きにくい)(好きー嫌い)」、Q45「日本のイメージ(豊かー貧しい)(近代的ー伝統的)(民主的ー非民主的)(信頼できるー信頼できない)(理解しやすいー理解しにくい)(好きー嫌い)」、Q50「日本人のイメージ(勤勉ー怠惰)(謙虚ー傲慢)(親しみやすいー親しみにくい)(理解しやすいー理解しにくい)(信頼できるー信頼できない)(好きー嫌い)」。

参考文献

- 井上史雄 (2001) 『日本語は生き残れるか 経済言語学の視点から』 PHP 研究所
- _____ (2012) 「日本語世界進出のグーグル言語地理学ーグーグルインサイトにみる外行語総合分布ー」『明海日本語』第 17 号 明海大学外国語学部日本語学会 pp.29-42
- 岡本佐智子 (2004) 「外来語の受容と管理：言語政策の視点から」『北海道文教大学論集』5 北海道文教大学 pp.51-62
- 黄迎春・新居田純野・上原聡 (2006) 「台湾閩南語に残っている日本語語彙」言語処理学会第 12 回年次大会論文集 pp.192-195
- 佐藤圭司 (1997) 「《普通話》と《台湾国語》の対照研究ー《台湾国語》にひそむ日本語からの借用語彙を中心にー」東呉大学日本文学系修士論文
- 鐘季儒 (2003) 「雑誌『日本文摘』からみた台湾の中国語における新外来語ー日系外来語を中心にー」『日本語論究 7 語彙と文法』和泉書院 pp.321-348

- 張文芳 (2003) 「台湾語化した日本語—五十余年台湾を統治した日本はインフラばかりでなく、こんな諛報な言語 (Language) を遺してくれた」『友愛』第 04 号 台湾友愛グループ pp.252-279
- 張良澤 (1983) 「台湾に生き残った日本語—“国語”教育より論ずる」『中国語研究』22 号 pp.1-36
- 陳麗君 (2004) 「台湾閩南語における日本語からの借用語」『南台應用日語學報』第 4 号 南台科技大學應用日語系 pp.73-90
- 杜岱玲 (2008) 「台湾における日本語語彙の実態」大葉大學應用外語研究所修士論文
- 宮島達夫 (2007) 「外来語と「外行語」」『大葉應用日語學報』創刊號 大葉大學外語學院應用日語學系 pp.1-9
- 村上嘉英 (1979) 「ビン南語における日本語語彙の受容様態」『天理大学学報』119 号 天地大学學術研究会 pp.27-43
- 村上嘉英 (1984) 「旧植民地台湾における言語政策の一考察」『天理大学学報』144 号 天理大学學術研究会 pp.21-35

辞書・辞典類

社団法人日本語教育学会編 (2005) 『新版日本語教育辞典』大修館

調査データ

「国際社会における日本語についての総合研究」日本語観国際センサス 文部省科学研究費補助金 (創成的基礎研究費) (平成 6～10 年度, 研究代表者: 水谷修) 国立国語研究所
http://www.ninjal.ac.jp/archives/n_census/